

## 海外短期英語研修 (C)

|      |      |
|------|------|
| 単位数  | 4    |
| 開講時期 | 後)集中 |

## 授業の目的および概要

当科目の目的は、海外での英語研修を通して、コミュニケーション能力をはじめとする英語の4技能をさらに向上させるとともに、異文化での生活体験から、異文化リテラシーのレベルを向上させ、さらには自文化や自己理解も深めることである。

当授業の履修を希望するものは、必ず研修前に事前審査を受けた上で、渡航前オリエンテーションを受講する必要がある。また、帰国後は、研修報告書(1600文字)等必要書類を提出し、審査に合格する必要がある。なお、当科目の単位認定には、英語圏および英語公用語圏における原則として80時間以上の研修が必要であり、研修先は大学付属の語学学校やイギリスの場合はBritish Council により認定を受けている機関が望ましい。

## 授業方法

当授業の受講生は、学科で行われる説明会および、渡航前オリエンテーションへの出席が義務付けられ、さらに単位を取得するには帰国後の学科審査に合格する必要がある。

具体的な流れとしては、受講生はまず、自ら選択した研修先での授業の概要を含めた研修計画書を作成した上で、保険等の必要書類とともに提出し、書類および面接による審査の両方に合格することが求められている。

また帰国後は、研修報告書(1600文字)、修了証書、成績証明書を提出し、面接審査に合格する必要がある。

## 到達目標

英語基礎力および英語でのコミュニケーション能力の向上、異文化リテラシーの向上が期待されている

## 授業計画

- 第1回 説明会
- 第2回 渡航前オリエンテーション(カルチャーショックと異文化適応)
- 第3回 渡航前オリエンテーション(安全対策)
- 第4回～第28回 海外研修
- 第29回 研修報告書の提出と面接審査
- 第30回 研修振り返り報告会(研修のディブリーフィング)

## 成績評価方法

オリエンテーション参加、研修計画書、面接結果等、事前研修への取り組み(20%)、研修先での成績、出席等の研修状況(60%)、研修報告書、面接結果等(20%)から総合評価する

## 準備学習

研修先の文化についての事前学習が求められる  
異文化コミュニケーション概論ⅠまたはⅡが履修済みであることが望ましい

## 教科書参考書

教科書： 特に指定しない

参考書： 『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』久米昭元・長谷川典子 有斐閣

## 注意事項

当科目の履修には、  
二年生は一年次の第2外国語Ⅰ、Ⅱ及び英文学科の必修単位がすべて取得済みである必要がある  
三年生はスクリーニング対象の学生ではないことが求められている